

行財政構造改革方針(案)に対する質問と現時点での事務局の考え方等

行政改革推進会議 資料6

委員名	ページ	項目など	意見内容	現時点での事務局の考え方等
委員	1	背景	中期財政収支見通しは楽観(ポジティブ)シミュレーションと聞いたが、悲観(ネガティブ)シミュレーションもした上で、数値を見込んでいるか。	中期財政収支見通しの作成に当たっては楽観的な予測に基づいて行ってはいません。ただ、その収支見通しの結果では、短期間に歳出構造の見直しができる、将来にわたって安定的な健全財政が維持できる見込みとなっています。その取り組みは容易ではありませんが、実現に向けて努力しなければならないものと考えています。
委員	2	重点改革項目 I	市民が主体的に地域活動を行うことを推進しているが、それぞれの団体がそれぞれに活動してタコソボ的に行動することはできるようになっても、同じような志を持つ団体が連携する仕組みや連携を推進する主体(まとめ役)は誰がするのか？	行政やNPO法人などが行う場合があると思いますが固定化することによる弊害もあり得ます。立場を超えて地域課題に取り組むためには、地域活動を行う主体が常に対話を行うことが重要であると考えます。その上で、適時適切に柔軟に対応することが必要であると考えます。
委員	4	重点改革項目 IV	行政の保有する情報のオープンデータ化することに関して具体的に教えてほしい。	具体的にはこれから検討することとなりますが、AEDの設置場所や避難所の情報と地図データとの連携等が例として考えられます。
委員	4	重点改革項目 II	市民や地域が相互の多様性(ダイバーシティ)を認めることは、なかなか難しいが、具体的にどのように認めていくよう仕向けるのか。	地域住民一人ひとり(個)と、多世代交流、地域活動等によるコミュニティを高めることと、また地域それぞれの持つ特性や地域性を生かした特色ある地域づくり(個のアイデンティティ)を行い、共生することで、相互の多様性(ダイバーシティ)を認め合うことにつながっていきます。現在推進している、まちづくり協議会組織の立ち上げと地域主体の地域づくり、そしてこれからの成熟社会での地域コミュニティづくりは、その一環であると考えています。
委員	4	重点改革項目 III	外国人観光客、移民などの取り込みをどのように考えているのか。	外国人観光客や移民などに対して、現在、具体的な取り組みの考えはありませんが、今後の動向や国の政策等を踏まえて、検討する必要があると考えます。
委員	4	重点改革項目 III	観光客についての項目はないのか？ 交流人口？	観光客は交流人口に含まれると考えます。
委員	5	重点改革項目 V	スクラップアンドビルド、特にビルドに伴う維持費は？	スクラップアンドビルドは事務事業や行政サービスに関するものです。「スクラップ」により生み出された財源をもとに「ビルド」し、事務事業を常にアップデートする取り組みと考えています。